

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年2月27日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0172902132		
法人名	医療法人 臨生会		
事業所名	グループホーム そよかぜ館アネックス		
所在地	北海道名寄市緑丘11-23 (電話) 01654-9-6200		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年2月26日	評価確定日	平成21年3月6日

## 【情報提供票より】(平成21年2月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	15人, 非常勤 人, 常勤換算 9人

### (2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	~ 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	34,000 円	その他の経費(月額)	7,000~11,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	250 円
	夕食	350 円	おやつ	円
	または1日当たり		円	

### (4) 利用者の概要(2月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	5 名	要介護2	5 名		
要介護3	7 名	要介護4	1 名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 83.44 歳	最低	74 歳	最高	91 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	・名寄市立総合病院	・医療法人臨生会 吉田病院
---------	-----------	---------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

定期的に食事検討委員会を開催して、食事が楽しみなものになるよう利用者の食事アンケート実施で食事が楽しむことのできる支援が行われている母体医療法人が運営する総合複合施設の中のグループホームです。また、緊急時に速やかに対応が出来るように週2回の火災避難訓練の実施や救急救命、AEDの使用方法など利用者と一緒に備えています。リビングには、利用者が集いカラオケや百人一首、大人のドリルなど思い思いに楽しみながら過ごしていると共に大学教授や大手化粧品メーカーに裏打ちされたお化粧品療法が職員に引き継がれ、身だしなみやお洒落で生きいきとした表情で過ごしている姿が印象的でした。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、職員の異動の際の家族への紹介について挙げられていましたが、定期的に発行される通信アネックス便り「ぼかぼか」での紹介や共用空間で職員の顔写真付きの紹介、その日の勤務者の掲示など家族や来訪者に分かりやすいように取り組みが行われています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 全ての職員が個別に自己評価を行い、新たな気づきや改善の機会として話し合わせ業務の見直しが行われています。また、外部評価の結果は、運営推進会議に報告されてそこでの意見が具体的なケアサービスの質の向上に利用されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、2ヶ月毎に開催され、主な議題は利用者を中心とした意見交換(質疑応答) 火災避難訓練実施及びスプリンクラー設置の必要性について 在宅診療について 町内の一人暮らし高齢者の現状について 敬老の日や町内会子供達とのジンギスカンなど地域交流について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 玄関入り口に「意見箱」を設置して意見や苦情等を言い表せる機会を設けています。また、来訪時には家族の不安な点や要望などの意見交換や気軽に話し合える関係作りに配慮され、運営に反映されています。金銭管理は毎月領収書と共に使用状況が報告されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会加入で「草刈り」などの参加や敬老の日には町内会の子供達の歌のプレゼントとその後のジンギスカンで交流の機会を作ったり、地元の高校生が中心となって保育園児や利用者を高校に招待してくれ交流が行われています。また、アネックス通信「ぼかぼか」を町内会会館に掲示し、ホームの取り組み状況や認知症に対する理解や啓発に取り組んでいます。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、全職員で話し合いグループホーム独自のアネックス理念、介護理念、地域理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を共有し、具体的な目標を掲げその実践に向けて日々取り組んでいる。		特筆すべき点として、職員が目指すべき年間目標「お話しするときは ゆっくり聞く 優しく聞く 丁寧に聞く」を掲げ、目標達成について評価されている。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会加入で「草刈り」参加や敬老の日に町内会の子供達の歌のプレゼントとその後のジンギスカンでの交流、地元の高校生が中心となって保育園児や利用者を高校に招待してくれ交流が行われている。また、アネックス通信「ぼかぼか」を町内会会館に掲示し、認知症に対する理解に取り組んでいる。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全ての職員が個別に自己評価を行い、新たな気づきや改善の機会として話し合わせ業務の見直しが行われている。また、外部評価の結果は、運営推進会議に報告されてそこでの意見が具体的なケアサービスの質の向上に利用されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、2ヶ月毎に定期的開催されている。委員は、市担当者、利用者、家族、町内会役員、他施設の介護支援専門員、施設長、管理者及び職員で構成され具体的に活動しそこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>補聴器や補助具の申請、認知症高齢者検索ネットワーク構築など日常の業務を通じて、名寄市とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<p><b>4. 理念を実践するための体制</b></p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>来訪時に日常生活の様子が報告されていると共に健康状態の変化時には都度電話連絡が行われている。また、金銭管理は、毎月領収書とともに報告されている。アネックス通信「ぼかぼか」を毎月発行して、行事参加や日常生活の様子なども報告されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関入り口に「意見箱」を設置して意見や苦情等を言い表せる機会を設けている。また、来訪時には家族の不安な点や要望などの意見交換や気軽に話し合える関係作りに配慮され、運営に反映されている。金銭管理は毎月領収書と共に使用状況が報告されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をしている。また、通信アネックス便り「ぼかぼか」での紹介や共用空間で職員の顔写真付きの紹介、その日の勤務者の掲示など家族や来訪者に分かりやすいように取り組みが行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、名寄市やグループホーム連絡協議会、法人内の研修参加が積極的に実施されている。また、研修後には参加者の報告会が行われている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同一地域の同業者やグループホーム協議会で交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、利用者・家族の見学などで職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>認知症ケアに有効とされるセンター方式を利用して、職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		<p>特筆すべき点として、認知症ケアと予防に有効とされる化粧療法（化粧行動）が大学及び大手化粧品メーカーと理論的に裏打ちされた中で実践されている。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p><b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1. 一人ひとりの把握</b></p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、畑作業や野菜の収穫、食事の準備や後片付け、金魚の世話や百人一首や大人のドリルなど趣味への支援や食事のアンケートで嗜好の把握等本人本位に支援している。</p>		
<p><b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成されて利用者、家族の希望や医師からの助言、カンファレンスで職員からの意見を取り入れ具体的になっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>		
<p><b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、散歩や買物、ラーメンや寿司などの外食を柔軟に支援している。また、看護師が常勤しており、適切な医療との連携が行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者をよく知る看護職員の常勤や母体医療法人やかかりつけ医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について指針が明確化され、早い段階から本人・家族の意向が確認され、職員間で共有されている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	接遇マナー講習会への参加や研修が行われている。また、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。		
21	52	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、散歩や買い物、畑作業や野菜の収穫、雪祭り参加やレストランでのラーメンや寿司などの外食等本人の希望や意向に沿った支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	定期的に食事検討委員会を開催して、食事が楽しみなものになるよう利用者の食事アンケート実施で食事が楽しむことのできる支援が行われている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2~3回を目安に支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	センター方式を利用して、一人ひとりの生活歴が把握され、カラオケ、百人一首や大人のドリル、調理の準備や後片付け、畑作業や野菜の収穫、散歩や買い物、レストランでの外食など気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	畑作業や野菜の収穫、買い物や散歩、花見や雪祭り見物、名寄神社への初詣やドライブ等戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施設長及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解している。また、不穏な利用者がある場合には家族と相談しながら支援している。玄関は、センサー設置などで外出が察知できるように取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>緊急時に速やかに対応が出来るように週2回の火災避難訓練の実施や救急救命、AEDの使用方法など利用者と一緒になって備えている。</p>		<p>今後は、不足の事態に備えて該当する本人の服装を経過記録など確認し易い場所に記録しておくことを期待します。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養バランスや摂取カロリーは、管理栄養士による指導・助言を仰ぎ支援されている。また、具体的な食事や水分の摂取量が記録され個々に応じた対応がされている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。広がりリビングには、利用者が集いカラオケや百人一首、大人のドリルなど楽しんで一緒に過ごしている。ベランダからは、新緑や紅葉が望めたり、敷地内の畑では大根などの野菜などが作られて居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、仏壇や家族の写真、テレビやソファ、観葉植物や使い慣れた家具などが持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。